

**2019年3月期第2四半期
決算説明資料**

名古屋鉄道株式会社

2018年11月7日

連結損益計算書

() は増減率

※5月時点 (単位:百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)	前回予想 (※)	増減
営業収益	295,630	294,530	1,099 (0.4)	流通 +4,132 運送 +2,117 航空関連サービス +644 その他 +512 交通 +207 不動産 △4,373 レジャー・サービス △1,445	295,000	630 (0.2)
営業費用	271,027	269,123	1,903	燃料費 +1,156	272,500	△1,472
営業利益	24,603	25,407	△804 (△3.2)	不動産 △774 その他 △260 レジャー・サービス △148 流通 △56 交通 +280 航空関連サービス +101 運送 +88	22,500	2,103 (9.3)
経常利益	25,572	26,474	△902 (△3.4)	営業外収益 △111 営業外費用 △14	23,000	2,572 (11.2)
特別利益	558	776	△218	固定資産売却益 △306	1,000	△441
特別損失	1,314	1,192	121	整理損失引当金繰入額 +560	1,500	△185
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,993	16,875	△882 (△5.2)		14,000	1,993 (14.2)

◆主な増減要因 (対前年同期) ◆

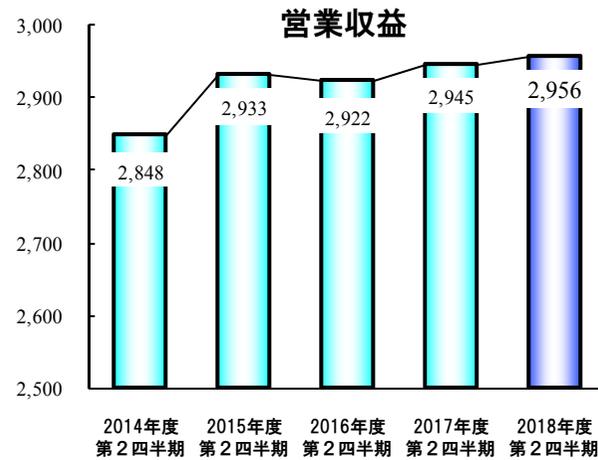
営業収益	：	【増収】	不動産事業が減収の一方、流通事業や運送事業における増収が牽引。
営業利益	：	【減益】	不動産事業における減益に加え、燃料費が増加。
経常利益	：	【減益】	営業減益に加え、持分法投資利益の減少により営業外損益が悪化。
親会社株主に帰属する 四半期純利益	：	【減益】	経常減益に加え、整理損失引当金繰入額の増加により特別損益が悪化。

≪連結子会社数≫ : 116社 (増加 1社) 名鉄協商パーキングWEST (新規加入)
 (減少 4社) 北陸名鉄急配 (被合併)、名鉄協商パーキング (被合併)
 名鉄バス中部 (被合併)、名鉄バス東部 (被合併)

≪持分法適用会社数≫ : 16社 (増減なし)



連結業績の推移



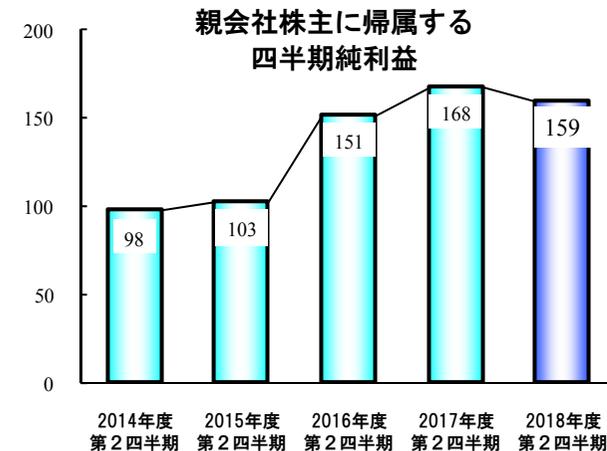
2期連続増収



4期ぶり減益



7期ぶり減益



5期ぶり減益



セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	84,298	84,091	207	0.2	鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収
運送事業	67,921	65,803	2,117	3.2	トラック事業における運賃単価の上昇を主因に増収
不動産事業	38,596	42,970	△ 4,373	△ 10.2	賃貸事業において駐車場数の増加や新規賃貸物件の収益寄与があったものの、分譲マンションの販売引渡戸数の減少により減収
レジャー・サービス事業	26,435	27,881	△ 1,445	△ 5.2	名鉄インの新規出店などによりホテル業では増収となったものの、観光施設事業における子会社譲渡に加え、天候不順に伴う減収などにより、全体では減収
流通事業	67,586	63,453	4,132	6.5	百貨店業では減収となったものの、建設資材取扱の増加や石油販売価格の上昇もあり、全体では増収
航空関連サービス事業	12,038	11,394	644	5.7	航空整備事業やケータリング事業での受注増加などにより増収
その他の事業	19,773	19,261	512	2.7	設備工事の受注増加などにより増収
調整額	△ 21,020	△ 20,326	△ 694	—	
合計	295,630	294,530	1,099	0.4	

営業利益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	13,814	13,534	280	2.1	燃料費は増加したものの、鉄軌道事業における増収と人件費の減少により増益
運送事業	3,515	3,426	88	2.6	燃料費や人件費は増加したものの、増収により増益
不動産事業	4,546	5,321	△ 774	△ 14.6	減収による減益
レジャー・サービス事業	991	1,140	△ 148	△ 13.0	ホテル業での新規出店費用の増加や観光施設事業での減収により減益
流通事業	332	389	△ 56	△ 14.5	駅店舗事業や輸入車販売業における利益率の悪化などにより減益
航空関連サービス事業	1,211	1,109	101	9.2	増収による増益
その他の事業	△ 60	199	△ 260	—	新規事業拡大に伴う費用の増加、設備工事の収支悪化などにより減益
調整額	250	285	△ 34	—	
合計	24,603	25,407	△ 804	△ 3.2	



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	184,650	178,036	6,614	分譲土地建物の増加
固定資産	946,565	942,585	3,979	
有形固定資産	792,084	789,302	2,781	建設仮勘定の増加
無形固定資産	8,472	8,804	△ 332	
投資その他の資産	146,008	144,478	1,529	
資産合計	1,131,215	1,120,622	10,593	
流動負債	257,157	259,686	△ 2,528	支払手形及び買掛金の減少
固定負債	469,693	471,380	△ 1,686	長期借入金の減少
負債合計	726,851	731,066	△ 4,215	
純資産合計	404,364	389,555	14,808	株主資本 +13,013 親会社株主に帰属する四半期純利益 +15,993 剰余金の配当 △5,237
負債純資産合計	1,131,215	1,120,622	10,593	
連結有利子負債合計	450,134	445,568	4,566	〔参考〕純有利子負債残高 417,089 (前期末比 +3,110)

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率 (単位: 百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	54,806	54,362	444 (0.8)	鉄軌道事業 +608 開発事業 △164
営業費用	42,327	42,493	△165	人件費 △430 修繕費 +219
営業利益	12,479	11,869	609 (5.1)	
経常利益	17,283	16,954	329 (1.9)	営業外収益 △443 営業外費用 △163
四半期純利益	13,537	13,337	199 (1.5)	

◆名鉄 運輸成績◆

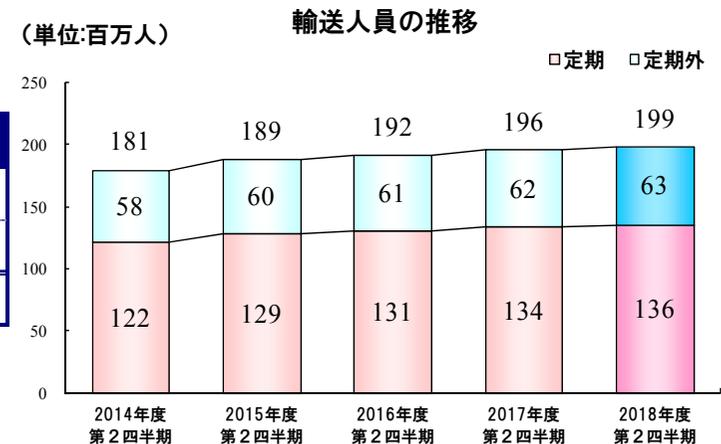
(単位: 百万円、%)

旅客収入	当第2四半期	前第2四半期	増減率
定期外	24,948	24,703	1.0
定期	20,190	19,871	1.6
計	45,138	44,574	1.3

(単位: 千人、%)

輸送人員	当第2四半期	前第2四半期	増減率
定期外	63,130	62,843	0.5
定期	136,498	134,155	1.7
計	199,628	196,998	1.3

(注) 定期外旅客収入には特別車両料金を含む。



2019年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2018年度 予想	2017年度 実績	増減	(対前期)	中期経営計画に おける2020年度 目標
営業収益	609,000	604,804	4,196 (0.7)	運送 +1,709 不動産 +1,642 交通 +1,255 その他 +1,165 航空関連サービス +355 流通 +347 レジャー・サービス +266	—
営業利益	45,500	46,976	△ 1,476 (△3.1)	不動産 △1,902 航空関連サービス △353 その他 △285 レジャー・サービス +391 交通 +358 流通 +234 運送 +10	50,000
経常利益	46,000	48,566	△ 2,566 (△5.3)	営業外収益 △1,292 営業外費用 △201	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,000	28,691	△ 1,691 (△5.9)	特別利益 △956 特別損失 △1,606	—
E B I T D A	85,500	85,882	△ 382 (△0.4)	※EBITDA：営業利益+減価償却費	93,000
設備投資額	69,800	52,236	17,564 (33.6)		—
減価償却費	40,000	38,906	1,094 (2.8)		—
純有利子負債	418,000	413,978	4,022 (1.0)	※純有利子負債：有利子負債-現金・短期有価証券	—

通期の連結・個別業績予想ともに前回公表値（2018年5月9日）を据え置き。





業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

